

NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.38

発行日 2000年11月30日
 発行者 NICE 沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町16番1号
 (事務局) 沼津市役所市民生活課国際交流室内
 ☎0559-34-2529



みのりの秋



友好都市提携15周年の重み

秋雨前線の影響を受けて9月1日は朝から雷雨の沼津でした。正午、沼津市役所から出迎える用のバスで成田空港に向かった時も、雷こそおさまったものの雨脚はまだまだ激しいものでした。今日は中国湖南省岳陽市友好訪問団一行13名が来日する日です。

沼津市と中国湖南省岳陽市が友好都市を締結したのは15年前の昭和60年（1985年）4月5日のことです。この間、様々な交流を続けてきましたが、今回15周年を記念して岳陽市長を団長とする友好訪問団11名と医師研修生2名が来日することとなりました。

成田空港に到着した時には、心配していた雨もすっかりあがりました。長旅のお疲れも見せず、早速バスに乗り込み一路沼津へ。



▲市役所の前で

翌日の土曜日には睡眠不足をも厭わず、早々に沼津市内の視察です。御用邸記念公園では、お抹茶の初体験。毛氈の上に窮屈そうに座り、みようみまねでお抹茶を味わっていました。

ささやかな日本文化体験の後は、昨年ご逝去された元沼津市長の庄司先生のお宅を訪問し、



▲抹茶の体験

ご焼香と献花をいたしました。庄司先生は友好都市締結当時の市長で、在任中はもちろん退職されてからも友好都市交流にご尽力されました。

商業施設の視察では、岳陽市長は商店街の建築様式に興味を示され、是非、岳陽市にもこのような商店街を作りたいと熱心に見学されました。

その晩、琴の演奏で始まった歓迎会では市長、議長をはじめとする沼津市の関係者、沼津国際交流協会の会員等80名余りが出席し、友好訪問団一行と一緒に中国語の歌を歌うなど、時の経

つのも忘れるほど盛大に行われました。

3日の日曜日には会員有志20数名とともに、大瀬崎と箱根の視察です。晴天に恵まれ駿河湾から望む富士山も格別です。岳陽市には海がないため、潮風と夏の名残の日差しを受けて輝く海を心ゆくまで楽しんでいました。

大涌谷では、あの硫黄の臭いに閉口して上まで登る事が出来ない団員もいましたが、1個食べると7年寿命が延びると説明した黒卵は皆喜んで食べていました。



▲大涌谷で

4日、月曜日午前中、沼津市役所を訪れた一行は、市長、市議会議長を表敬訪問しました。その後2人の医師研修生が1ヶ月間研修をする沼津市立病院を訪問し、研修生から決意や抱負が熱く述べられました。

午後は中国からの研修生を受け入れている鯨の干物加工工場や、ごみ処理場の視察です。沼津のごみ分別についてはある程度予備知識をもっていたようですが、実際に缶やビンが仕分けられているのを見ての感想は、『很好!』（へんハオ）（すばらしい!）でした。

3泊4日の沼津滞在は瞬く間に過ぎ去り、4日の晩はもう送別会。和太鼓の演奏、よさこい沼津踊りと賑やかなうちに宴は終了。名残を惜しんで記念撮影する面々、いつまでも会場を去ろうとしない皆さんの姿が印象的でした。



▲送別会での太鼓演奏

翌5日の朝、沼津を出発した岳陽市友好訪問団一行は横浜、東京へ向かい、その後、滋賀、京都、大阪を視察し、9月9日大阪から中国に無事帰国されました。

市立病院で医療研修

9月1日岳陽市友好代表団一行11名とともに沼津市を訪問した岳陽市の2名の医師、陳曼娜さんと唐応生さんは9月8日から研修を開始。陳さんは小児科のお医者さんで岳陽市第一医院の副院長さん。唐さんはリハビリのお医者さん。



▲医療機器の管理状況を視察

それぞれの専門分野と市立病院の概況や病院管理について熱心に研修した。研修予定表に基づいて、前日下調べをし、疑問点は即座に質問。宿舎に戻ってなおかつ疑問点があるときは翌日また質問。好奇心と積極性を遺憾なく発揮。



▲人工透析室にて

千本にある宿舎から毎日バスを乗り継いで市立病院まで、ワンマンバスのシステムやバスカードの便利さに感心し…2～3日もたつともう、付き添いがいなくても買い物に出かけるほど。

9月24日には会員とともに市民の森でバーベキュー交流会。日ごろの善行のおかげか前日の



▲満腹・満足 バーベキュー

嵐のような雨はあがり、さわやかな秋の一日。お料理上手の陳さんと、食べるのが得意な唐さん、会員たちと和気藹々と盛りだくさんのご馳走に舌鼓を打った。

食後は宝探しゲームに歌にダンス。唐さんの酔拳。歌が大好き、ダンスも上手、明るく楽しいお二人だった。9月28日沼津を離れ、北海道を視察後、10月4日無事に帰国した。

帰国後、二人から楽しかった沼津のことを懐かしむお礼状が相次いで届いた。陳さんからは、バーベキュー交流会で歌った「永遠是朋友」の中国語の歌詞がメッセージとともに送られてきた。

我們永遠是朋友…我們到处都有好朋友…（私たちはいつまでも友達… 私たちはどこに行っても良い友がいる…）。



◆カラマズ一部会◆

10月4日水曜日に、沼津マリーノ（イタリアンレストラン）で、カラマズーからの2人のゲストの歓迎会を30名の参加者で、盛大に行いました。歓迎会では、カラマズー市から、英語招聘教師として沼津市の公立中学校で1年間勤務するジェニーさんと、同じく沼津市立高校で英語を教えてくださいエミーさんの紹介をいたしました。ジェニーさんは、2ヶ月ごと中学校を交代でまわり、来年の7月の終わりまで勤務します。1校目となる原中学校の文化祭で、生徒とともに太鼓の演奏を披露するなど、日本の文化にたいへん興味があり、積極的です。エミーさんも生徒に人気があり、休み時間なども生徒が寄ってきて、楽しく英語で会話をしています。

紹介のあと、おいしい料理をいただきながら、若いお二人を囲んで、みんなで楽しく会話をしました。和やかな雰囲気の中、ゲストにカラマズー市のことや趣味のこと等をお聞きしたりする参加者もあり、それぞれが楽しい一時を過ごしました。

最後に参加者全員、それぞれの自己紹介をして、親睦を深め、楽しい歓迎会が開きとなりました。

It's a small world

—国際交流フェア NICE街—



やわらかな秋の日射しが降り注ぐ中、去る11月12日の日曜日、沼津市島郷にある「学習院游泳場」で、沼津国際交流協会（NICE）主催の国際交流フェアが開催された。恒例となったこのフェアは毎年開かれているが、今年は昨年の雨模様とはうってかわって、穏やかな秋の日に行われた。

全8カ国（中国、インド、タイ、南米、ペルー、インドネシア、イラン、日本）、13ブースに分かれて各国の料理、文化、音楽そして踊りを堪能した一日だった。



国際交流フェア

《ふれあい部会》

「国際交流フェア中国代表として参加後の感想」

井上 華子

今回の国際交流フェアは、私にとっては初参加ですが、フェアの日が近づくにしたがって不安が高まってきました。“来場のお客様とのコミュニケーションを上手に取り、楽しんで帰って頂けるか？”“中国の文化を上手く伝えることが出来るか？”等々です。

しかし当日は天気も良く、開場時間になれば



▲舞台上で中国の歌を歌う井上さん

中国のブースに多くのお客様がいらっしゃり楽しんで頂いたと感じました。

中国の食文化の紹介として、星州米粉（シンゾォミーフン）と烏龍茶と点心（お菓子）を試食として出したところ、かなり好評で、試食された方からは「好吃・好吃（ハウツー・ハウツー）」（日本語で“美味しい”）とおほめの言葉を頂きました。烏龍茶についても「今まで日本で飲んでた物と違い、あっさりしていて、色も濃くなく美味しいですね」とか、ある男性は「温かい烏龍茶は初めて飲んでみたが、“なかなかいける”」と言っておりました。

また、ある若い女性は、中国のブースの手伝いをしてくれていましたが、“スタッフの方かな？”と私が疑問に思った時、実は彼女は来場のお客さんであることがわかりました。父は中国、母は台湾の方で、ボランティアとして急きょお手伝い頂いたとの事。他のお客様からは、私の娘だと勘違いされるくらい良く手伝って頂

き、笑顔が良く、来場されたお客様にも好感を持って頂き、非常に感謝しております。

今回参加してみて私が感じた事は、家庭的な雰囲気の中で、来場のお客様にも好感を持って頂き、中国の茶店（喫茶店）の雰囲気があると感じました。チャイナドレスも、来場の女性の方々からは“素敵ですね”と興味をひかれたようです。今回スタッフの方の桂（クイ）さんにも非常にご多忙の中、文化の紹介として言葉の意味の違いや起源をボードにして頂き、ご協力に非常に感謝しております。

例えば“工作”という言葉は、日本語では何かを作る事を指します、中国語では仕事の事を指します。同様に“手紙”は中国ではティッシュペーパーの事を指します。来場のお客様にも判り易く興味を持っていただき、それがきっかけでその他の事に会話が発展しました。漢字という共通の文字がある同じ文化圏であることを再認識し、中国をもっと身近な国に感じて頂いた気がしました。

現在私は、帰化して日本人として暮らしております。一人の力は小さいですが、今後とも国際理解の為に貢献したいと思っております。とても有意義な一日を持たせて頂きました。

「国際交流フェア NICE街に参加して」

モハメッド・アマザデ：イラン

日曜日、いろいろな国の展示や料理を通じて、文化や習慣を身近に感じてもらうことができて、とてもよかったです。

顔かたち、髪や肌の色、言葉の違いを乗り越え心から楽しい時間を過ごすことで、どの国の人も、皆親しくなってわかり合うことができました。

本当の国際交流は難しい会議の場で生まれるものではなく、庶民同士がわかり合う中から生まれるものだと感じました。

これからも、このような交流の場をたくさん持って、日本の人にいろいろな国のことを知ってもらい、この地域で暮らす外国人を理解してもらい、21世紀は世界が一つになり、同じ地球人としてだれでも平和で豊かに生きられるようになると思います。

第9回 英語&日本語スピーチコンテスト

今年で9回目を迎える英語&日本語スピーチコンテストは10月22日(日)沼津市立図書館において行われ、英語の部、日本語の部各10名の出場者が日ごろの勉強の成果を競いました。



日本人は英語で、外国人は日本語で、自由なテーマによりそれぞれ5分間のスピーチを行ない、その内容に重点が置かれ審査されます。

毎年、日本人がどんなテーマについて英語でスピーチするのだろう、また日本に住む外国の人たちがどんなことを考えているのだろう、と大変楽しみにしているのですが、今年もみなさん個性的なテーマで熱く語ってくれました。



■日本語の部優勝
モハammad・ザヒドゥル・アミンさん(左)
(バングラデシュ)
■英語の部優勝 水口和子さん(右)



自分の伝えたい事を母国語以外のことばで伝えなければいけないわけですから、自然と身振り手振りも交えて、スピーチにも熱がはいってきます。

特に日本語の部のスピーチでは、彼らが日本へ来て初めて体験したことや母国との習慣の違い、日本の今時の若者の服装等、驚いたことや不思議に感じたことなど、おもしろいところに目を向けていて、われわれ日本人との感覚の違いがわかり、たいへん興味深く聞けました。

コンテスト終了後、出場者とスタッフを交えた交流会が設けられていて、英語、日本語入り乱れて話はずんでいました。短い時間でしたが、お互いの健闘をたたえあい、緊張も解けて楽しい交流会ができました。



当日は、多くの方々にご来場していただき、ありがとうございました。

～日本語を語る会～

毎週土曜日の午後1時半から3時まで市立図書館で開催している「日本語を語る会」。毎回20名前後の外国人が日常会話の習得に励んでいます。

講師も毎月勉強会を行い教え方の腕を上げるために頑張っています。

日常会話の練習を希望している外国人がいたら「日本語を語る会」のことを知らせてあげてください。

(12月は第3週まで、1月は第2週からです)

“BUNA ZIUA” (こんにちは)

11月26日(日)市立図書館の視聴覚ホールにて「国際交流サロン」が開催されました。今年度二回目のサロンは、お国紹介講座「ルーマニアの紹介」でした。

講師のイアン・ルビー・オレッチさんがスライド、写真、ビデオ、音楽、小物を使ってお国紹介をしました。



講座が始まると、民族衣装のシャツを着たイアンさんから聴衆に質問。

「ルーマニアはどこにあるか知っていますか?」「ルーマニアという国名の意味を知っていますか?」「ルーマニア人で知っている人は?」「ルーマニアの首都はどこ?」そして「日本の人口は何人?」……。

ほとんどの人が答えられませんでした。

「ルーマニアと聞いて頭に浮かぶものは?」と、質問されると何も答えられないかも知れませんが、ドラキュラ、チャウシェスク、コマネチと聞けば、この中の誰も知らないという人は殆どいないでしょう?

ROMANIA という国名は約150年前から使われていますが、これは約2000年前にこの地を征服したローマ帝国のROMAに由来しており、スラブ国家に囲まれた東欧唯一のラテン国家です。



首都ブカレストのミルチェア・チョバヌ教会

ルーマニアは日本の本州と同じくらいの面積ですが、人口は2,241万人と日本の約六分の一しかありません。ルーマニアの歴史は決して平和なものではなく、何回もの侵略、占領、革命をくり返し、第二次世界大戦後も独裁者であった大統領との戦いを経て現在に至っています。

実際イアンさんも共産主義政権時代にイタリア経由でカナダに亡命し、しばらくの間家族が離れ離れになってしまった経験をしています。



講座の途中には「ルーマニア語講座」「ルーマニア料理のレシピ紹介」などもあり、イアンさんと聴衆一体になって楽しい時を過ごしました。



▲ドラキュラのモデル
ヴラド・ツェペシュ
(1431~1476)

国際交流なんでも情報室

◆留学生募集◆

留学先 中国湖南省岳陽市
 岳陽師範学院
派遣時期 平成13年3月から1年間
 または1年以上。
専攻課目 中国語、太極拳、中国画
資格 高校卒業以上（平成13年3月卒業見
 込み者可）で沼津在住または在勤の
 健康な人
 または18歳以上の協会員（沼津市近
 隣在住）
費用 自費（学費、生活費、渡航費用など）
申し込み 所定の申し込み用紙、写真（3×4）
 2枚、成績証明書を1月31日(水)まで
 に事務局に提出。

◆第9回春節祭◆

スタッフを募集

平成13年1月28日(日)開催される、旧暦のお正月
 を在住外国人の皆さんと祝う会です。
 企画・運営に携わって1日楽しみましょう！

◆Let's スポーツ交流◆

スポーツ交流会に参加しましょう!!

家の中で過ごすことが多かった季節も過ぎ、
 固くなっている体と心をリフレッシュして国際
 交流しませんか。

と き 平成13年3月11日(日)
と ころ 勤労者体育センター
 （文化センター東側）
内 容 10人11脚・バドミントン・バスケット
 ボール・ビーチボールバレー等
定 員 日本人50人・外国人50人
 一人でも参加できます
参加料 無料
持ち物 体育館シューズ・タオル

お申し込み・お問い合わせ等は
 協会事務局
 （市役所・市民生活課国際交流室内）
 (TEL) 0559-34-2529

コンタクト専門クリニック



ニチイ9F ☎(0559)62-5670(代)

確定申告、贈与税、相続税、法人企業会計、経営相談
多賀義明税理士事務所
 税理士 多賀義明 税理士 多賀一朗
 沼津市上香貫槇島町1336-10
 ☎(0559)34-1500(代) FAX(0559)34-1505

お茶と海苔
創業60年 茶の香 陵
 静岡県沼津市御幸町19-5
 TEL(0559)31-1133(代) FAX(0559)31-1146番

広告代理店

(株)読売PR マルヒロ通商

大岡2927-1
 ☎21-4891 FAX22-2305

看板・ネオン電飾・展示装飾・店舗改装・プラスチック加工
有限会社 やまと看板
 取締役社長 長 沢 芳 明
 沼津市本字千本1910-112
 ☎(0559)62-1612(代表) FAX 62-1613

みどり美術印刷株式会社

記念誌・パンフレット・カタログ・自費出版
 〒410-0058 沼津市沼北町2-16-19
 TEL(0559)21-1839 FAX(0559)-24-3898